

千年の森便り No.72

2009年5月27日発行

ちば千年の森をつくる会

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/index.html>

E-mail:tgysk665@yahoo.co.jp TEL&FAX:043-432-1450

お知らせ

- 次回定例活動日 6月14日(日) 9時30分清和県民の森第2駐車場集合、主な活動はシカ個体数調査、水辺清掃、井戸堀り、食害調査、植生保護、植生調査、巨木林調査など。
- 会員の入会 5月24日市原の根本喜代土さん入会、次頁の「千年の森に参加して」をご覧ください。
- セブーンイレブンみどりの基金環境ボランティアリーダー研修募集 研修期間・場所：09年10月下旬10日間、ドイツ、応募締切：6月30日、希望者は上記千年の森アドレス宛てお問い合わせください。

活動の記録

5月24日(日) 曇後雨 参加は新井、石井、鶴沢、大賀先生、甲斐、栗山、坂本、根本、長谷川、福島、福田、真鍋、松本、村野、森の15名。雨予報を気にしながらシイタケ本伏せ、動物調査用センサーカメラ設置、植生・食害調査、植生保護柵補強、巨木林調査など行い、午後雨あしが強くなる前に散会しました。

○シイタケ本伏せ；2月15日植菌したシイタケホダ木85本を巨木林コクラン群生地脇に運び、ムカデ伏せ状に本伏せ、全員作業であっという間に完了しました。

○センサーカメラ設置；セブーンイレブンみどりの基金助成金により購入した動物生態調査用センサーカメラの取扱い説明を受け、ニホンジカがタケノコ探しに出没するマダケ林に設置しました。なお従来からのカメラも当分の間借用使用します。



シイタケ本伏せ



センサーカメラ設置



マダケ林保護柵補強



ツチアケビ保護金網

○植生保護 07年設置のマダケ林保護柵内は08年食害(ノウサギ?)によりタケノコが全滅したため、目の細かいネットで外側を覆い、裾抑えして補強しました。また千年広場脇に新たに見つかったツチアケビの群落(6本)を亀甲金網で囲い天井を貼り付け保護しました。

○食害調査 昨年の方法に替わる簡便な食害調査・記録方法を相談し、その方法によりホテイ岬方面で食害調査を試行しました。昨年設置したホテイチク保護柵内ではタケノコが無事に成長している一方、柵外にはタケノコ食害多く保護柵の効果は確かにあったようです。昨年食害多く殆ど実をつけなかった千年広場のモミシイチゴは今年殆ど食害がなく、沢山の実をつけ、人間たちに試食されていました。



ホテイ竹タケノコの食痕、犯人は？

この活動は2009年度セブーンイレブンみどりの基金の公募助成を受けています

○**植生調査** マダケ林、ホテイ岬方面及び巨木林の植生調査を行いました。ヤマボウシは花盛り、モミジイチゴは食べごろ、ミヤマウグイスカグラやウグイスカグラも色づいていました。ホテイ岬の保護柵内の金網内にサイハランがピンクの花をつけていました。



ヤマボウシ



ミヤマウグイスカグラ



サイハイラン



イズノシマダイモンジソウ(左上)

とイワタバコ

5月4日臨時活動日の植生調査で撮影（福島）されたイワタバコの開花がないか崖を降りてみましたが開花は未だでした。同じ崖に、イズノシマダイモンジソウ（D、ユキノシタ科）が生息していることがわかりました。5株。「禁断の岬」立入り禁止地の崖です。秋の開花をお楽しみに。

○**巨木林調査**（林床木本調査）大賀先生は調査区内の落葉樹の種名同定・記録作業に専念されましたが、樹木の個体数が多いため終了せず、6月に継続になりました。

豊英島の夜の動物たち

マダケ林に向かってホテイ岬入口に設置されていたセンサーカメラに、ニホンジカ、ノウサギ、ハクビシンが写っていました。いずれも未明から夜明け前です。動物たちや夜が好き？



ニホンジカ 09年5月17日5時43分



ノウサギ 09年5月18日1時40分



ハクビシン 09年5月15日3時46分

豊英島モミの巣にトビのヒナが孵りました。うぶ毛に覆われていて顔が確認できないため、1羽か2羽かは確認できません。ヒナの健やかな成長と巣立ちを見守りましょう。

「千年の森」に参加して

市原市 根本喜代士

新緑が雨に打たれ清々しい空気の中での初作業、久々に自然を感じ取ることができました。孤立した豊英湖の自然は豊富な動植物の宝庫であると、世に知らしめた「ちば千年の森をつくる会」の皆さんの活動に敬服いたします。自然観察、調査、動物の食害調査等々の活動は地道で根気の要るように思われますが、ファミリー的な会の雰囲気も魅力を感じました。いままで何気なく歩いていた足元にも300種余りの植物が在ることも知り愛おしくさえ感じます。皆さんとともに活動できればと願っております。

この活動は2009年度セブニーイレブンみどりの基金の公募助成を受けています